

は　じ　め　に

新潟県衛生公害研究所は、環境保健行政の技術的中核としてより高度な活動を展開し、より効率的かつ機動的な運用を図るため、60年4月1日にそれまでの衛生、公害の両研究所を統合して発足いたしました。この年報は発足後1年間の活動の状況をまとめたものですが、統合が目指した成果を挙げているか否かについては、もう少し時間を賜わり、所員の努力を見守って頂きたいと存じます。

近年のIC、バイオテクノロジー、新素材等に代表される科学技術の目覚ましい進展と急速に進む人口構造の高齢化は、社会のあらゆる面に影響を及ぼし、これまでのあり方の変更、改革をせまっているように思われます。

衛生公害研究所がその課された役割を果すには、このような状況の変化を正確には握し、将来をもある程度見通しながら調査研究活動を進めることが肝要であります。どうぞ、ますますの御支援の程お願い申し上げます。

新潟県衛生公害研究所 佐藤 廣 治